

- ▶ 太田市では、林業経営には適していない人工林や獣害の恐れのある森林について森林整備を行う方針としている。
- ▶ 令和4年度は八王子丘陵ハイキングコース沿いの未整備森林における危険木伐倒および搬出処分、イノシシの生息箇所となっていた未整備森林について、所有者の承諾を得たうえで整備事業を実施した。
- ▶ 今後も、未整備森林については、災害予防の観点による整備を進めていく方針。

□ 事業内容

台・滝之入地区整備業務委託

- 人家に隣接する未整備森林について、イノシシ等の生息場所となっていたため、整備業務委託（刈払い・樹木伐採）を行った。実施にあたり、その後の管理協定を管理者等と締結した。

【事業費】1,056千円（全額譲与税）

【実績】刈払2800㎡、伐倒50本



(実施前)



(実施後)

□ 取り組みの背景

- 該当地区は林縁部であり、イノシシによる住環境への被害が発生していた。特に、人家に隣接する藪地（未整備森林）においては、イノシシの生息場所となっていたため、人身被害を未然に防ぐためにも環境整備が必要であった。民有地であるが、未整備であることにより周囲に被害が及ぶ恐れのあることから、地区との協議のうえ、森林経営管理法に基づき、市で整備をすることとなった。

□ 工夫・留意した点

- 藪地については整備後の管理が続かないと意味がないため、地元区長、所有者、管理者とその後の管理協定を締結した。
- 発注に際しては、原因除去のための発注に留め、その後の管理については地区（管理者）に依頼した。
(刈払いは現地粉碎処分まで、伐採は玉切りし現地積載のみ)

□ 取り組みの効果

- 緩衝帯が整備され、獣害軽減につながった。
- 地区で環境が良くなったことが認知されたため、その後の環境整備の意識向上につながった。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：24,818千円	②私有林人工林面積（※1）：291ha
③林野率（※1）：5%	④人口（※2）：223,014人
	⑤林業就業者数（※2）：9人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より